（公社）兵庫県建築士会　姫路支部会報

姫路支部だより

HIMEJISHIBUDAYORI

2

2017 February No. 21

1　1月の活動報告
2月の活動予定
お知らせ
2　姫路支部女性会員　近況活動報告
森澤　理恵子
コラム　「知ってる人は知っている話　鎬桟瓦」
吉田一幸
3　構造学習会 2017　ご案内
石原　弘一
4　姫路建築探訪
F.42-V.19　二百余神社・弥勒寺
福岡　憲昭・山本　薫

表紙写真　　日本一と言われる　弥勒寺「布袋さん」の像　　（姫路建築探訪より）

1月の活動報告

1.18（水）　第20回環境デザイン研修会（東影建築設計事務所）
模型体験講座（ものづくり体験館）
1.19（木）　ＣＰＤ認定講習会
第10回構造学習会（姫路建設会館）
1.26（木）　ＣＰＤ認定事業
建築相談（姫路市役所）
1.27（金）　模型体験講座（ものづくり体験館）

2月の活動予定

2.　2（木）　模型体験講座（ものづくり体験館）
2.　4（土）　兵庫県立大学との協同講座（姫路市市民会館）
2.15（水）　第21回環境デザイン研修会（姫路建設会館）
模型体験講座（ものづくり体験館）
2.16（木）　ＣＰＤ認定講習会
第11回構造学習会（姫路建設会館）
2.23（木）　ＣＰＤ認定事業
建築相談（姫路市役所）
2.25（土）　ＣＰＤ認定研修会
研修見学会（和歌山県高野山）
2.28（火）　模型体験講座（ものづくり体験館）

お知らせ

■グランドゴルフ大会　参加者募集
日時：2017年3月11日（土）13:00～
場所：エコパーク網干
（詳細は別紙をご覧ください）

■構造学習会 2017　受講生募集
来年度も引き続き構造学習会を開催いたします。
（詳細は後頁をご覧ください）

■姫路支部総会及び創立６０周年記念式典について
先般よりお伝えいたしておりますとおり、来年度は創立60周年を迎えます。このたびは通常総会と同日に記念式典を開催いたします。
日程は以下の通りです。ご案内は、4月頃に新ためて致しますのでどうぞよろしくお願い致します。
場所　姫路商工会議所
日時　平成２９年５月１３日（土）
支部総会　14.30～15.30
記念式典　16.00～17.00
記念祝賀会　17.30～19.30

姫路支部女性会員　近況活動報告

森澤　理恵子

建築士会姫路支部の女性会員は、現在、１０名。
皆さんにお声掛けをし、半数の方が参加可能な日のみ開催するという不定期『女性会員限定懇親会』です。

女性ならではの色々な状況（子育て､親のお世話､お仕事など）から､「土曜日のお昼」が集まりやすいので、
毎回、曜日時間帯は決まってます。

今年初めは､「ランチ新年会」でした。
少し豪華なコース料理とお酒を楽しみながら、女子トークが途切れることなく続きました。

でも、やはり建築女子ですね～、お店からの眺めや、建物についてなどの建築の話になっていきます。（笑）
昨年の夏には､「納涼女子会」を開催致しました。
新しく入って頂いた方々にもお声掛けし、初めてお逢いできた方もいらっしゃいました。

次回は､「新春ミニ見学懇親会 in 御津町」を企画しております。
美味しものを食べて、見学して、甘味も食べて、懇親もしたい！という贅沢な時間になりそうです。
お楽しみに（＾＾）ｖ

2017.1.14 ランチ新年会

2016.7.2 納涼女子会

コラム　『知ってる人は知ってる話　「鎬桟瓦」』

Colum

先日行った淡路瓦工業組合さんの新年互礼会講演後の懇親会でのお話です。

常日頃、瓦屋根には少々関心があり、特に古い町並みの瓦屋根が醸し出す独特の風合いに惹かれているところです。委託を受けた新築計画の際にも和瓦を用いることが多いのですが、最近の一般に流通している瓦は均一で滑らかで美しく、とても優しい女性的なイメージを感じています。

それは、また、メーカーさんの思惑なのでは有りましょうが、これに対し、古民家の瓦屋根は、不揃いでゴツゴツしていて荒々しく、重量感と力強さが感じられ、言わば男性的なイメージと言うところです。

そんな中にあって、当日、鎬（シノギ）桟瓦を造っていますと言われる瓦屋さんを紹介頂きました。お話を聞くと、桟瓦の峰の部分を日本刀の鎬（シノギ）のような線を意識して表現した瓦だということでした。これまでも、少しでも力強さを求め切落桟瓦を意識的に指定してきていましたが、今ひとつ満足できてなかったのが現状でした。

今回、昔の形状を復刻しましたというこのお話を聞かせていただき、最近の瓦屋根がなぜ昔のイメージとこんなにも違うのかという原因が、これまで漠然として、理解できてなかった理由が判明した気分になり、とても気分良く帰ってきたところです。

そしてまた、これからは、少し割高にはなりますということではありましたが、切落桟瓦でも十分に表現できない古民家の屋根が醸しだす風情を創出できるかもしれない、という淡い期待を抱くことができました。

鎬桟瓦

切落し桟瓦

刀身の鎬
（ｼﾉｷﾞ）

桟瓦

http://www7b.biglobe.ne.jp/~osaru/kakubu.htm より

淡路瓦工業組合 HP
谷池瓦産業 HP より転載

株式会社　環境設計　　吉田一幸

（公社）兵庫県建築士会姫路支部　構造学習会2017（案）

日　時	学習内容
4月27日（木）　午後8時～午後10時	構造計算ルートと木造軸組工法の構造的特徴
5月25日（木）　午後8時～午後10時	荷重と外力
6月22日（木）　午後8時～午後10時	壁量計算と4分割法、水平構面の検討
7月27日（木）　午後8時～午後10時	水平力による許容応力度計算
8月24日（木）　午後8時～午後10時	鉛直荷重と局部荷重に対する許容応力度計算
9月28日（木）　午後8時～午後10時	地盤解析と基礎設計
10月26日（木）　午後8時～午後10時	特殊な形状に対する検討（ｽｷﾌﾟﾌﾛｱ、平面不整形等）
11月30日（木）　午後8時～午後10時	大規模木造の設計　その1
12月21日（木）　午後8時～午後10時	大規模木造の設計　その2
1月25日（木）　午後8時～午後10時	木造住宅の耐震診断と耐震補強その1
2月22日（木）　午後8時～午後10時	木造住宅の耐震診断と耐震補強その2
3月22日（木）　午後8時～午後10時	擁壁の設計

※上記日程は講師の都合等により変更となる場合があります。その場合はメールでご連絡します。
※講義内容は受講生の理解度等を確認しながら変更させていただく場合があります。

場所：　姫路建設会館　2階 第1会議室
　兵庫県姫路市三条町1丁目31　（駐車場有り＜無料＞）

使用テキスト：　未定
書店、ネット等で各自ご購入ください
　サブテキストとして「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（通称グレー本）」
「木造住宅のための住宅性能表示」「木造住宅の耐震診断と補強方法」

携行品：　筆記用具、電卓等

講師：　（株）兵庫確認検査機構　構造設計一級建築士　景山氏他

受講料：　建築士会会員　　500円／1回
建築士会会員外　1000円／1回
　※年（12回）一括払いの場合、会員5000円、会員外10000円とします。
　欠席時の受講料の返却はございませんが、配布した資料は次回お渡しします。
受講料のお支払いは、初回受講時にご持参いただきお支払いください。

注意事項：　講義中は携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定お願いします。
講義中の飲食は原則禁止（飲みもの程度は可とします）

お問い合わせ
連絡先：　事業担当者　建築士会姫路支部　石原理事まで
携帯番号：080－5318－3533
メールアドレス：ishihk2@coralhousing.com

名　称：二百余神社（にひゃくよじんじゃ）
所在地：姫路市夢前町護持 712

名　称：弥勒寺（みろくじ）
所在地：姫路市夢前町寺 1051

【二百余神社の概要】
二百余神社の歴史は古く、寛和２年（986）に巨智延昌が多聞寺（護持に瑞雲山本誓寺の前身）の鎮守社として創建し、鎮守権現と呼ばれていた。
珍しい「二百余」という名の由来は、後醍醐天皇が隠岐島より御還幸の途中多聞寺で護摩を修せられ、鎮守社に天神地祇 12 代、神行 64 神、播磨 174 座を合祀されたからである。（播磨郡誌）『播磨鏡』には鍋倉八幡・鎌倉二百余社・鎮守権現二百余社とかかれている。（鎌倉とは護持の旧名称）
本殿は桧皮葺流造、幣殿は瓦葺切妻造、拝殿は瓦葺入母屋造で、社務所の左横には薬師堂が創建されている。木造の狛犬は（現在兵庫県立歴史博物館に保管）元亨４年（1324）の作である。鎌倉時代の狛犬は全国でも極めて稀であり、姿形も整っており非常に貴重な文化財である。
また、二百余神社が鎮座する地域は「環境緑地保全地域」に指定されており、（昭和 55 年３月 21 日）(1980) コヤスノキなどが生育する貴重な常緑広葉樹林が残されている。

兵庫県神社庁ホームページより

【弥勒寺の概要】
長保２年（1000）、書写山円教寺を開基した性空上人が草庵を建てたのが始まりで、長保４年（1002）巨智延昌が花山法皇の勅命により弥勒堂、護法堂、護摩堂を建立し通宝山弥勒寺と称した。現在の本堂は、康暦２年（1380）赤松義則によって再建されたものである。本堂は、桁行３間、梁間５間の規模で、前方部の桁行３間、梁間２間を開放の外陣とし、内陣の両脇及び後面に各１間の廂間を付属し、中央に唐様須弥壇を配置する。細工が施された内陣の折上小組格天井など各部の形式手法は南北朝時代の標本とされる。なお、墨書銘により弘治３年（1557）、寛文２年（1662）、寛政２年（1790）、天保５年（1834）等に修理を受けたことが判る。明治 43 年（1910）向拝廻りと屋根葺替が行われた。昭和 30 年から 31 年まで解体修理を行った。

姫路市文化財課ホームページより

【二百余神社】

参道

拝殿（正面）

石段

木造の狛犬の写真

百度石

本殿（背面）

【弥勒寺】

参道

山門（龍の彫物）

本堂（正面）

開山堂（正面）

本堂（天井）

布袋さん像

【感　想】
通り慣れた道路に今まで気が付かなかった立札があった。『二百余神社』まで 500 m。なぜか気になる『二百余』という不思議な名称の神社の案内板である。
矢印の方向を向くと鳥居が建っていて、アスファルト舗装はされているが狭そうなので広場に車を置いて鬱蒼とした林の中を徒歩で向かう。350 mほど歩くと少し開けた場所に到達
神社への石段が見えてくる。この辺りは環境緑地保全地域になっており、貴重な常緑広葉樹林が残されている。
鬱蒼とした中にある石段の途中に　お百度石があり歴史ある雰囲気が漂ってくる。
石段を登りきると先ず境内中央のブルーシートに視線を奪われた。土俵である。
網干の街歩きをしたときに神社境内に土俵があったがこの辺りの神社で見たのは初めてであり
古来、相撲はスポーツや格闘技ではなく神事であり、益々この神社から古い歴史を感じる。
本殿の前に拝殿があり非常にシンプルな造りであり、華美な装飾は全く無く、周囲にベンチ状の椅子が施工されているのだがその座を支える部材に少し装飾がされてあり、それがかえって品の良さを感じさせる。
本殿はさすがに小規模ながら装飾はきちんとされており　獏の木鼻などは本当に丁寧に彫られている様に感じた。
この本殿横の石段を登っていくとひっそりと佇む薬師堂があり中に室町時代作の木仏が安置されている。
神社もお堂もこれと言って、特徴のあるものではないが参道はきちんと草刈りが行われ、神事のための土俵は大切にされている様で地元の方の生活の一部になっているのではということは簡単に想像できる。
ただ残念なことが一つ、この神社には石造の狛犬が安置されているのだが、資料によると全国的にも珍しい木造の狛犬が安置　されていたとのこと。現在は姫路市内の【兵庫県立博物館】に保管されている様で、この狛犬が鎮座している『二百余神社』の姿が見てみたいという思いを少し残し、石段を下りて帰路についた。

と、終わるつもりだったのだが福岡さんが『何か、少し新しい普請の神社に思えた。』と鋭い指摘。
鳥居まで帰ってきて案内板を見たら「昭和 15 年　改築」と記載が…
二人で話し合って　少し古建築には新しいが雰囲気が良いので支部便りには載せてもらおうと結論がでたのだが、保険という意味ではないがもう一か所、近くの『弥勒寺】へ

石橋を渡り山門を目指す。山門を潜ると正面に国の重要文化財である「本堂」を見ることができる。
近くに寄り、「本堂」を間近で見ると「うわぁ！」と声が出る。装飾が素晴らしい！
先に見学に行った『二百余神社』が鬱蒼とした中を歩き簡素な印象の建築物なので「静」と例えるならば、『弥勒寺』の方は見事な装飾の集まりで、龍の彫り物等は今にでも動き出しそうなほど見事なもので「動」と例えられるか？
本堂の奥には、市の文化財である「護法堂」「開山堂」を見ることができる。
「開山堂」はきれいな方形屋根で美しい。今回伺ったときはこの二棟の防蟻・防腐の処理中であまり近くに寄れなかった為に、少し離れての見学で残念だったが、やはり、木造の文化財を後世に受け継ぐ為に必要なものである為に仕方がない。また、こういう保存管理が行われているだけ『弥勒寺』はまだ幸せなのかもしれない。と、『二百余神社』の拝殿の朽ち果てかけた柱の足元を思い出しながら『弥勒寺』を後にした。

追記：『弥勒寺』には日本一と言われる「布袋さん」の像があり、中々の迫力の笑顔でお出迎えしてもらえます。欲張らないで小さな福でもいただこうと思わず賽銭をいたしました。
『二百余神社』も秋祭りがあるようです。参道の清掃が行き届いているところなど、地元の方が支えているお祭りがどんなものか？土俵で行われる神事がどの様なものか？興味が尽きません。